



愛媛県における

全国がん登録研修会

「進展度・治療前」

「進展度・術後病理学的」

独立行政法人国立病院機構
四国がんセンター
愛媛県がん登録室



今回の講義のテーマ

①⑥「進展度・治療前」 ①⑦「進展度・術後病理学的」 を理解する

進展度とは

がんが原発巣からどこまで広がっているかを分類する最も基本的ながんの病期の分類方法です。

5つの主な区分

上皮内 限局 所属リンパ節転移 隣接臓器浸潤 遠隔転移

※悪性リンパ腫、カポジ肉腫：限局 隣接臓器浸潤 遠隔転移の3区分



⑩進展度・治療前

治療前に得られたエビデンスに基づき決まる。

身体的検査、画像診断、内視鏡検査、生検、
外科的検索およびその他の関連する検査法に基づき決定する。

【コードの選択】

400 上皮内

410 限局

420 所属リンパ節転移

430 隣接臓器浸潤

440 遠隔転移

777 該当せず：白血病、多発性骨髄腫（局在コードが
C42.0又はC42.1）の場合、適用する。

499 不明：原発巣が不明（局在コードがC80.9）の場合、適用する。
項目「発見経緯」が4剖検発見の場合、適用する。



⑰ 進展度・術後病理学的

治療前に得られた情報（進展度・治療前）に、手術や病理組織学的検索で得られた知見を補足、修正して決定される病期。

【コードの選択】

400 上皮内

410 限局

420 所属リンパ節転移

430 隣接臓器浸潤

440 遠隔転移

660 手術なし又は術前治療後：当該がんの手術が自施設で行われなかった場合、適用する。

777 該当せず：白血病、多発性骨髄腫（局在コードがC42.0又はC42.1）の場合、適用する。

499 不明：原発巣が不明（局在コードがC80.9）の場合適用する。



手術項目との関係性

観血的治療項目

⑱外科的治療の有無

⑲鏡視下治療の有無

⑳内視鏡的治療の有無

すべての項目が「2：自施設で施行なし」を選択している場合

自施設で手術を行っていない

（他施設で手術を行ったどうかは考慮しない）

進展度・術後病理学的は

「660：手術なし又は術前治療後」を選択する。

※但し、白血病、多発性骨髄腫（局在コードがC42.0又はC42.1）
の場合を除く



手術を行う前に がんを縮小する治療を行っている場合

抗がん剤や放射線治療等を行いがんを小さくしてから手術を行った場合

がんに対する治療の影響がわからないので
手術等で得られた進展度情報を登録しない

「660：手術なし又は術前治療後」を選択する。

自施設で行った手術前治療だけでなく

「前医で抗がん剤治療後に自施設で手術を行う」と言ったケース
もこれに該当する。



一度定まった進展度は変わらない

初回の「進展度・治療前」、「進展度・術後病理学的」が確定した後に転移が診断された場合でも修正等を行わない。

A病院で初期のがんが見つかり検査・治療を行った

進展度・治療前：限局

進展度・術後病理学的：所属リンパ節転移

数年後、がんが再発し他臓器に転移あり

B病院で転移部位の切除手術を行う

進展度・治療前：限局（又は不明）

進展度・術後病理学的：手術なし又は術前治療後

※詳細がわからない時は不明



今回の講義は以上になります。

お疲れ様でした。

